



2020

- 農協公布記念日にあたって
- イチモニ・食のカスペシャル取材
- 女性部・青年部活動
- 新入職員紹介
- お知らせ
- JA NEWS FLASH

11

No.279



「農協法公布記念日にあたって」

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRI ACTION! HOKKAIDO（アグリアクションホッカイド）」と題した取組みをJAグループ北海道が一丸となって行っています。

「AGRI ACTION! HOKKAIDO」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラレルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



イチモニ 食のカスペシャル!

8月27日「イチモニ食のカスペシャル」の取材が行われました。イオンとHTTBがコラボした企画で、新得町のブランド人参「アロマレッド」が特集されました。撮影は2日間行われ、女性部協力のもと、アロマレッド人参を使用した料理のシーンを撮影し、翌日は屈足地区の藤田孝良さんの圃場で収穫シーンの撮影を行いました。新得蔬菜振興会会長の平和男さんがアロマレッドの紹介を行い、生産者を代表して、新得産のアロマレッド人参をPRしました。

放送日には、イオン道産デーとして、全道のイオン系列のスーパーで大々的に販売促進が行われ、その反響は大きく、全道の消費者が新得産アロマレッド人参に関心を寄せていました。



フレッシュよつ葉会 手芸講習会

女性部



フレッシュよつ葉会は、8月28日に畜産部集會室にて手芸講習会を行いました。新得町在住の畑中京子氏を招き、アーティフィシャルフラワーを使ったスワッグ作りを行いました。

当日は会員5名が参加し、畑中氏指導の下、それぞれが個性豊かな作品を仕上げました。



今年もやりました！ Sランチプロジェクト



青年部



青年部は、毎年行っている学校給食プロジェクト「Sランチ」を10月1日、2日の2日間にわたっておこないました。Sランチはスペシャル・シントクの頭文字をとって、食材を新得産限定にし子供たちの食育活動の一環として行い、今年で4年目となります。

今年は1日目に新得産小麦を使用したバターロール、北広牧場の牛乳を使用したシチューと飲むヨーグルトを提供し、2日目は新得地鶏の唐揚げ、共働学舎のフロマージュブランと金田ベリー園のハスカップジャムがコラボしたハスカップフローズンが提供されました。

青年部を代表して屈足南小学校を訪れた平一真副部長は、Sランチの概要と青年部に食育活動について話をした後、生徒と一緒にSランチを楽しみました。



喉のバリアを高める

健康科学アドバイザー ● 福田千晶

空気が乾燥する季節です。エアコンの効いた室内のみならず、屋外の農作業などでも、喉が乾燥します。喉が乾燥すると、風邪やインフルエンザにもかかりやすいので侮れません。

喉の粘膜には短い毛（繊毛＝せんもう）があり、侵入したウイルスや細菌を除去しています。

この繊毛は、適度な温度と湿度のときに働きが活発になります。つまり風邪などの感染を防ぐためには、喉の乾燥対策が大切なのです。あめや炭酸タブレットをなめたりガムをかんだりして唾液の分泌を促したり、小まめな水分補給で喉を潤しましょう。耳の下にある耳下腺や顎にある舌下腺と顎下腺を軽くマッサージすることで、唾液の分泌が増えるので、農作業の合間にお勧めです。

最近の研究で、お茶に含まれるカテキンがインフルエンザウイルス感染を抑制することが分かってきました。小まめにお茶を飲んだり、帰宅したらお茶でうがいをする事で、インフルエンザウイルスに感染する確率を減らせます。カテキンが新型コロナウイルス感染症の予防に効果的かは不明ですが、インフルエンザも怖いこれらの季節に、お茶を活用するのは賢明です。

もちろん、喉の乾燥対策には室内の加湿やマスクの着用も欠かせません。無意識に口を開けて口呼吸をしていると、口腔（こうくう）内が乾燥しやすく風邪やインフルエンザの感染リスクも高まります。特にマスクを着用している時、口を開けて呼吸していることが多いので、心掛けて口を閉じて、鼻呼吸をしましょう。

感染予防には、喉の乾燥を防ぐ他に、栄養をしっかりと取って、十分な睡眠も確保し、体調を整えておくことが大切です。風邪やインフルエンザなどの感染症が増える季節、生活の中でできる予防策は行っておきたいですね。

新入職員紹介

①氏名と生年月日、②出身地、③最終出身校、
④血液型、⑤趣味・特技、⑥農協を志望した理由



所属部署 畜産部 畜産係

- ① 堀籠 美咲 平成7年12月19日
- ② 新得町
- ③ 青森県立保健大学
- ④ AB型
- ⑤ 趣味・Youtube 鑑賞、料理
- 特技・採血
- ⑥ 母や職員の方に薦めていただき、熱意に惹かれて志望しました。
- ⑦ 事務の仕事とは無縁の所で働いていたので、わからないことだらけですが、組合員のみなさんのお役に立てるよう頑張ります。



所属部署 畜産部 畜産係

- ① 澤田 基 平成9年12月21日
- ② 幕別町
- ③ 帯広北高校
- ④ AB型
- ⑤ フットサル
- ⑥ 生産者・組合員の皆様に感謝されるような職員になりたいと農協職員を志望しました。
- ⑦ 生産者・職員の皆様のお役に立てる人間になりたいです。



所属部署 車両整備工場 検査整備係

- ① 松浦 稔光 昭和45年1月12日
- ② 清水町
- ③ 清水高校
- ④ O型
- ⑤ 釣り・家庭菜園・金属磨き
- ⑥ 自動車以外の機械などを整備したいと思ったから。
- ⑦ 人数の多い職場で働くのは初めてですが、早く慣れて組合員の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRI ACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガспラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかか



る営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。

JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

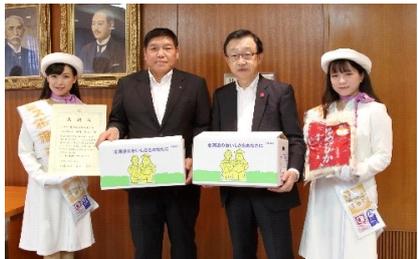
今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運動を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったこと



から、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発行の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

JAグループ 北海道 秋修

耕ぞう、大地と地域のみらい。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



あらためて気づいた
食と農、家族のたいせつさ



月号	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(本誌添付12月号)	1,027円



理事会の動き

第6回 8月31日開催

報告事項

- 第1 出資加入・増口申込者について
- 第2 令和元年度各連合会の出資配当金について
- 第3 職員の燃料手当の支給について
- 第4 内部監査の結果について
- 第5 職員の新規採用について
- 第6 JA共済コンプライアンス点検結果報告
- 第7 西十勝農業センター小麦受入完了報告について
- 第8 農産物集荷実績について
- 第9 7月末畜産物取扱実績について
- 第10 その他

協議事項

- 第1号 組合員の全戸巡回訪問の実施について
- 第2号 年金規約の一部改正について
- 第3号 災害対策計画（BCP）の一部改正について
- 第4号 本所事務所改装に係る施設改善検討委員会の設置について

第7回 9月28日開催

報告事項

- 第5号 ホクレンAコープ新得店閉店に伴うJA新得町の対応について
- 第6号 特定組合員7月末計画変更について
- 第7号 理事に対する利益相反取引について
- 第8号 固定資産の取得について
- 第9号 その他

協議事項

- 第1 加入・脱退・譲渡申込者について
- 第2 令和2年度第2・四半期主要勘定及び損益対比について
- 第3 余裕金の運用状況報告について
- 第4 職員の新規採用について
- 第5 令和2年産主要農産物集荷実績について
- 第6 8月末畜産物取扱実績について
- 第7 その他

第8回 10月28日開催

報告事項

- 第3号 特定組合員の担当について
- 第4号 Aコープ閉店セールについて
- 第5号 その他

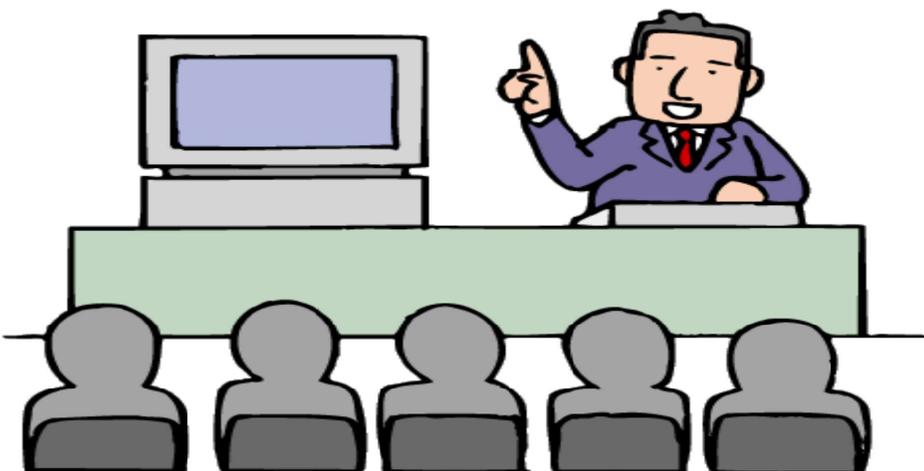
協議事項

- 第1 脱退申込者について
- 第2 令和2年度寒冷地手当の支給について
- 第3 内部監査の結果報告について
- 第4 令和2年産主要農産物集荷実績について
- 第5 第3回西十勝センター運営協議会について
- 第6 9月末畜産物取扱実績について
- 第7 新得町畜産振興公社9月末実績について
- 第8 その他

協議事項

- 第1号 農業経営と農業事業を語る地域懇談会の開催について
- 第2号 役員研修の実施について
- 第3号 施設改善の検討経過について
- 第4号 特定組合員12月末見込み協議日程について

- 第5号 農産物売買に係る利益相反取引について
- 第6号 令和2年産小麦概算払いについて
- 第7号 固定資産の取得について
- 第8号 その他



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

